

木曾川水系における
水資源開発基本計画

説明資料

平成16年6月

目 次

都市用水（水道用水及び工業用水）の県別・用途別需給想定一覧表

農業用水の県別需給想定一覧表

木曽川水系における水資源開発基本計画 説明資料 (1)
都市用水（水道用水及び工業用水）の県別・用途別需給想定一覧表

【需要】

(単位 m³/s)

H27	用途	水道用水					工業用水					都市用水
	県名	長野	岐阜	愛知	三重	小計	長野	岐阜	愛知	三重	小計	合計
総量		0.34	11.79	32.56	7.67	52.37	0.00	1.83	14.47	8.10	24.40	76.77
他水系の依存量		0.00	0.00	0.19	2.03	2.22	0.00	0.00	4.31	1.28	5.59	7.81
木曽川水系の依存量		0.34	11.79	32.37	5.64	50.15	0.00	1.83	10.16	6.82	18.81	68.96

【供給】

(単位 m³/s)

H27	用途		水道用水					工業用水					都市用水	安定供給可能量(2/20)	近年最大渇水時供給可能量(H6)
	事業名	県名	長野	岐阜	愛知	三重	小計	長野	岐阜	愛知	三重	小計	合計		
開発水量	新規	徳山ダム	-	1.20	3.30	-	4.50	-	1.40	0.70	-	2.10	6.60	4.24	2.44
	既計画で 手当済み	三重用水	-	-	-	0.67	0.67	-	-	-	0.19	0.19	0.86	0.65	0.34
		長良川河口堰	-	-	10.32	2.84	13.16	-	-	2.93	6.41	9.34	22.50	16.95	6.89
		阿木川ダム	-	0.80	1.10	-	1.90	-	-	2.10	-	2.10	4.00	2.28	1.64
		味噌川ダム	-	0.30	3.27	-	3.57	-	-	0.73	-	0.73	4.30	3.61	1.76
		木曽川総合用水	-	1.77	19.16	1.00	21.93	-	4.33	6.30	7.00	17.63	39.56	17.41	7.91
		愛知用水	-	1.30	2.59	-	3.89	-	0.50	5.91	-	6.41	10.31	7.21	5.46
		その他事業	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02
自流		0.19	2.42	7.98	0.03	10.63	-	-	-	2.95	2.95	13.58	13.58	13.58	
地下水		0.02	4.83	2.15	4.15	11.15	-	0.00	0.00	0.00	0.00	11.15	11.15	11.15	
その他		0.14	0.09	0.00	0.00	0.23	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.23	0.23	
合計		0.34	12.74	49.88	8.69	71.65	0.00	6.23	18.67	16.56	41.46	113.11	77.33	51.42	

(需給想定調査等をもとに作成)

(注)

- 水道用水及び工業用水の水量は、それぞれ一日最大取水量である。
- 水道用水の水量について、長野県及び岐阜県は簡易水道の水量を含み、愛知県は簡易水道及び専用水道の水量を含むが、三重県は簡易水道及び専用水道の水量を含まない。
- 愛知県の工業用水のうち名古屋市工業用水の水量は、かんがい期のものを示している。
- 徳山ダムによる愛知県の供給水量は、揖斐川から木曽川へ導水することを前提として算出している。
- 安定供給可能量(2/20)は、木曽川及び長良川について、これらの河川の2/20に相当する昭和62年度を想定して計算している。揖斐川の徳山ダムについては、愛知県分は木曽川等との全体の水利関係から木曽川等と同様の昭和62年度を使用しており、2.84m³/sとなる。岐阜県分は、揖斐川の2/20に相当する昭和59年度をもとに、近年の降水量の変動等の地域の実情を踏まえ、1.40m³/sとなる。
- 愛知県の長良川河口堰による水量は、工業用水から水道用水に5.46m³/sを振り向けた後のものである。
- 愛知県の水道用水の味噌川ダムによる水量のうち1.756m³/sは、暫定措置として西三河地域に供給を行うこととしている。
- 「その他事業」とは、岐阜県の大ヶ洞ダム、岩村ダム及び中野方ダムである。
- 「その他」とは、ダム等の水資源開発施設、自流及び地下水以外により供給される水(湧水等)である。
- 「安定供給可能量(2/20)」及び「近年最大渇水時供給可能量(H6)」とは、一定の前提条件の下でのシミュレーションをもとにした供給可能量である。
- 「安定供給可能量(2/20)」とは、近年の20年に2番目の渇水年において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量のことである。
- 「近年最大渇水時供給可能量(H6)」とは、近年最大の渇水であった平成6年において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量のことである。
- 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

木曽川水系における水資源開発基本計画 説明資料 (2)

農業用水の県別需給想定一覧表

【需要】

(単位 m^3/s)

H27 (新規需要)	用途	農業用水				
	県名	長野	岐阜	愛知	三重	小計
新規需要想定		-	-	-	-	-

【供給】

(単位 m^3/s)

H27	用途	農業用水				
	事業名 \ 県名	長野	岐阜	愛知	三重	小計
開発水量 (既計画で手当済み)	三重用水	-	-	-	2.10	2.10
	木曽川総合用水	-	2.15	-	-	2.15
	小計	-	2.15	-	2.10	4.25
その他	愛知用水	-	0.61	4.10	-	4.71
合計		-	2.76	4.10	2.10	8.96

注：農業用水の水量は夏期かんがい期間（ただし、愛知用水については5/1～10/3）の平均取水量を表す。